

---

# 隠人使い 2 呪われし者 < 3 >

みづき海斗

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

隠人使い 2 呪われし者<3>

### 【Nコード】

N21390

### 【作者名】

みづき海斗

### 【あらすじ】

同級生の新谷が誰かに呪われていると告げられた綾と望はその手掛かりの「猫」を探そうとするが、一方、綾の本だけでは物足りない新谷はある寺を父と訪れていた。

式 - 2 (前書き)

ぼち・・・・・ぼち・・・・・(滝汗)

『拝み屋』。

綾と望が言っているのは、所謂僧侶の事である。ついでに、霊能力者もその手の類である。陰陽道とは星々の動きからその人の行く末や生き方を示すものだが、仏教（特に小乗仏教）に端を発するものは人の霊や魂をその根拠としている。

新谷は今、ある寺を父と共に訪れていた。

「成程。」

家の近くにあるその寺の年老いた住職は、彼らの言葉に頷くと、「では、除霊しましょう。きっと浮かばれない霊が貴方がたの家を彷徨っているでしょう。」

「御願します。」

新谷と父は頭を下げた。

新谷の心の中には勿論、綾の言葉があつたが、今一つ心もとない所があつた。

先日 of 学校を賑わした霊（と、新谷は思いこんでいる。ナイト・メアの事だ。授業中も皆同じ夢を見、そして必ず綾がその夢の中に現れているという共通点から綾が何かしらの形でその夢に関わっていると思つたからだ。）の件も綾の力によるものだという事は判つていたし、だからと言つて一冊の本だけを残した綾にも少し心配な所がある。

そして、今、彼はＴＶでも有名になつた住職の元を訪れたのである。

「これで安心だな。」

寺の門を出ると父は新谷にそう言つた。

「うん！今夜にでも除霊してくれるって言つてたからね。」  
久しぶりに新谷の顔に笑顔が戻つた。  
が。

その刹那、一人の少年の姿を電柱の陰に見つけると無表情になった。

「土御門………」

新谷は少年にそう言った。

「新谷君。」

側には望の姿もあった。「どうして綾の事信じてくれなかったの？」

「それは………」

新谷は戸惑い、父の顔を見上げる。

「君が土御門君かね？」

穏やかな声で父は綾に声をかけた。

「はい。」

竹刀の入った黒い袋を肩にかけ、「いつも新谷君にはお世話になってます。」

新谷にとって意外な返答が返って来た。

「土御門。」

新谷は思い切って、「俺、お前の事信用してないって訳じゃないからな！」

「そんな事誰も聞いてない。」

冷やかな表情で綾は答え、そして、

「新谷。お前の家、猫を飼っているか？」

「え？」

突然の台詞に新谷は一瞬戸惑った後、

「………って、飼ってないけど。」

「そう。」

今度は望が答えた。「新谷君、今度の件、綾の式神によると猫が絡んでるらしいんだ。何か心辺りない？」

「心辺りって………」

夕闇に紛れ始めた空を見上げ、「俺、喘息持ちだから動物飼った事なんてないし、殺したり何かした覚えもないし。」

そして、「やっぱ俺って猫の祟りにあつてるのか？土御門。」

「だから、俺は『拝み屋』じゃない。」

少々きつい口調で答えた。「霊だの魂だのは俺は信じない。全ての星の位置を知ることによってその人の人生や運命を司る役目を持つのが陰陽師だ。俺はそこらへんの坊様や霊能力者とは違う。阿倍清明の血を引き継ぐ『隠人使い』だ。」

「鬼？」

何も知らない新谷の父は少し驚いた様子で、

「守から君の話しは聞いていたが、君はそんなすごい家の子なのか？」

半分信じきれない様だった。

「信じようと信じまいと」

綾は目を細め、「貴方がたが霊の存在を信じるか信じないか、という事と同じです。」

それから、新谷へ視線を戻し、

「注意しろよ。」

一言、そう告げると綾は彼らに背を向けてしまった。

「ごめんね、新谷君！」

その後を、望が追いながら右手を耳に当て、

「何かあったら、携帯<sup>これ</sup>！綾も新谷君の事心配してるから悪い結果にはならないよ。綾の言った事信じて！」

「あ、ああ・・・」

戸惑いがちに新谷は夕闇の中答えた。

「一体、どうなっているんだ？」

新谷の父は不思議そうに、その冷やかな瞳を持つ少年の姿を思い起こしながらそう呟いた。

事件解決まであと2日。

## 式 - 2 (後書き)

・ ・ ・ ・ ・ 滝汗。ぶつた切り連載 (> <) 。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2139o/>

---

隠人使い 2 呪われし者 < 3 >

2010年10月9日21時05分発行